

○議長（茅沼隆文）

次に、副町長から、平成31年度当初予算編成のこれまでの経緯についての説明があります。

副町長。

○副町長（加藤一男）

それでは、簡単に私のほうから予算編成をまとめるまでの経緯などについて説明させていただきます。

まず、予算編成スケジュールおよび平成30年度以降の財政見通しなどを議題として、昨年10月1日に第1回の財政調整会議を開催しております。

平成31年度は第五次総合計画の後期基本計画のスタートの年であり、夏に各課から前期6か年の事業実施状況および後期計画の予定している事業などのヒアリングを行い、その結果を踏まえ、各部ごとに所管する大規模事業などの取り扱いについて財政的観点から全体調整を実施しております。

後期基本計画策定にあたり、財政状況を考慮した中で、目指す将来都市像の実現に向け、更なる事業の推進に向け、事業の組み立てを行っております。

また、これまで継続して重点的に取り組んできました子育て支援、教育環境の更なる充実、北部地域の活性化、新庁舎整備の推進の3本の柱事業であります。教育においては、平成31年度から幼稚園での3年間教育がスタートいたします。

後段の二つの事業においても、拠点整備や新庁舎建設など、総仕上げに差し掛かることから、引き続きこの3本柱の事業をしっかりと完遂していくことを確認しております。

以降、10月12日に第2回、10月25日に第3回の財政調整会議を開催しまして、事業スケジュール等について検討を進めるとともに、引き続き大規模事業や主要事業について、実施年度の調整を行いました。

また、平成28年度からスタートした協働推進特別枠も引き続き確保し、町民との協働をさらに推進していくことを決定したところでございます。その後10月30日には、職員への説明会を開催し、以降、各課予算要求を進めました。

10月16日には、予算要求を締め切り、その時点での予算要求状況としましては、4億9千万円あまりの歳出超過となりました。このままでは予算が編成できないため、超過状況の共通認識を図るとともに、各課要求額のさらなる厳正化を徹底し、その後の11月28日からの財務課長による調整とあわせて、1億5千万円の超過まで圧縮をしたところでございます。

12月18日から私と行政推進部長により査定を行い、各事業については改めて企業の進捗状況や課題新規取組等の確認をし、事業の優先度はどうなのか改めて検証を査定し、さらに超過額を圧縮したところでございます。最終的には、年が明けた1月21日の町長査定によりまして、今回お示しさせていただいております、予算案となっております。

予算編成の件については、以上でございます。よろしくよろしく御審議いただきま

すよう、お願い申し上げます。

○議長（茅沼隆文）

副町長による予算編成のこれまでの経緯についての説明が終わりました。